



宮守銀河通信とは宮守地区のまちづくりの『今』を伝えるための不定期発行の通信です。今回は5月12日(火)に開催された宮守地域づくり連絡協議会総会で決定した新役員のお知らせと、まちづくりチームのにぎわいteamの活動状況、6月13日(日)に開催された里山フェスタ2020の様子をお伝えします。また、宮守地区の令和2年度の一括交付型事業の申請事業をお知らせします。

令和2年度宮守地域づくり連絡協議会総会

5月12日(火)に宮守総合支所2階第2会議室にて令和2年度宮守地域づくり連絡協議会総会が行われました。

第1号議案から第6号議案まで審議され、出席者の過半数の同意をもってすべての議案が可決されました。なお、新役員につきましては、右記のとおりとなります。

新役員(任期令和2年4月1日～令和4年3月31日)

会長	八重樫 正昇(新町自治振興会長)
副会長	千葉 孝造(下郷地区自治会長)
副会長	菅原 伴耕(宮守町区長会長)
幹事	菊池 省治(鹿込地区自治振興会長)
幹事	菊池 誠志(上宮守文化振興会長)
監事	板倉 善美(岩根橋自治会長)
監事	川野 政光(塚沢自治会長)

里山フェスタ2020晴天の下、開催

6月13日(土)に銀河の森総合運動公園にて、遠野市緑化祭里山フェスタ2020が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、規模を縮小し関係者団体のみの参加となりましたが、参加した宮守地域づくり連絡協議会の会員は桜の植樹に励み、心地よい汗を流していました。遠野市西の玄関口みやもり菊地邦会長は「この事業を通じて、ますます宮守町を愛する環境が作っていければ」と語っていました。





にぎわいteamは、5月28日(木)に会議を行い、令和2年度の活動の確認等を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、ウォーキングコースの選定等は様子を見ながら行っており、6月13日(土)に開催される里山フェスタの植樹作業に、銀河の森整備事業の一環としてにぎわいteamが参加することになりました。



令和2年度宮守地区まちづくり一括交付型事業一覧

令和2年度の宮守地区のまちづくり一括交付型事業は、以下の15事業を申請しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、事業の縮小や未実施となる場合もあります。

令和2年度宮守地区まちづくり一括交付型事業

事業名	総事業費	補助額
まちづくり計画推進支援事業	451,000円	450,000円
銀河の森を整備しましょう事業(新規)	371,000円	370,000円
めがね橋で恋をしようプロジェクト事業	25,000円	24,000円
ハックルベリー大作戦事業(新規)	101,000円	100,000円
ふるさとに伝わる郷土芸能継承事業(新規)	143,865円	143,000円
宮守ウォーキング事業(新規)	101,000円	100,000円
健康づくりスポーツ事業2020	61,000円	60,000円
暮らしの支え合いボランティア事業(新規)	151,000円	150,000円
花いっぱい運動事業	343,990円	307,000円
塚沢神社景観美化事業(新規)	147,120円	132,000円
集会所倉庫基礎補修事業(新規)	73,270円	65,000円
下郷集会所厨房施設改修事業(新規)	1,000,000円	500,000円
めがね橋ライブ2020	210,000円	147,000円
あらまち演芸会2020(新規)	190,000円	171,000円
柏木平リバーサイドまつり事業(新規)	148,000円	133,000円
合計	3,517,245円	2,852,000円